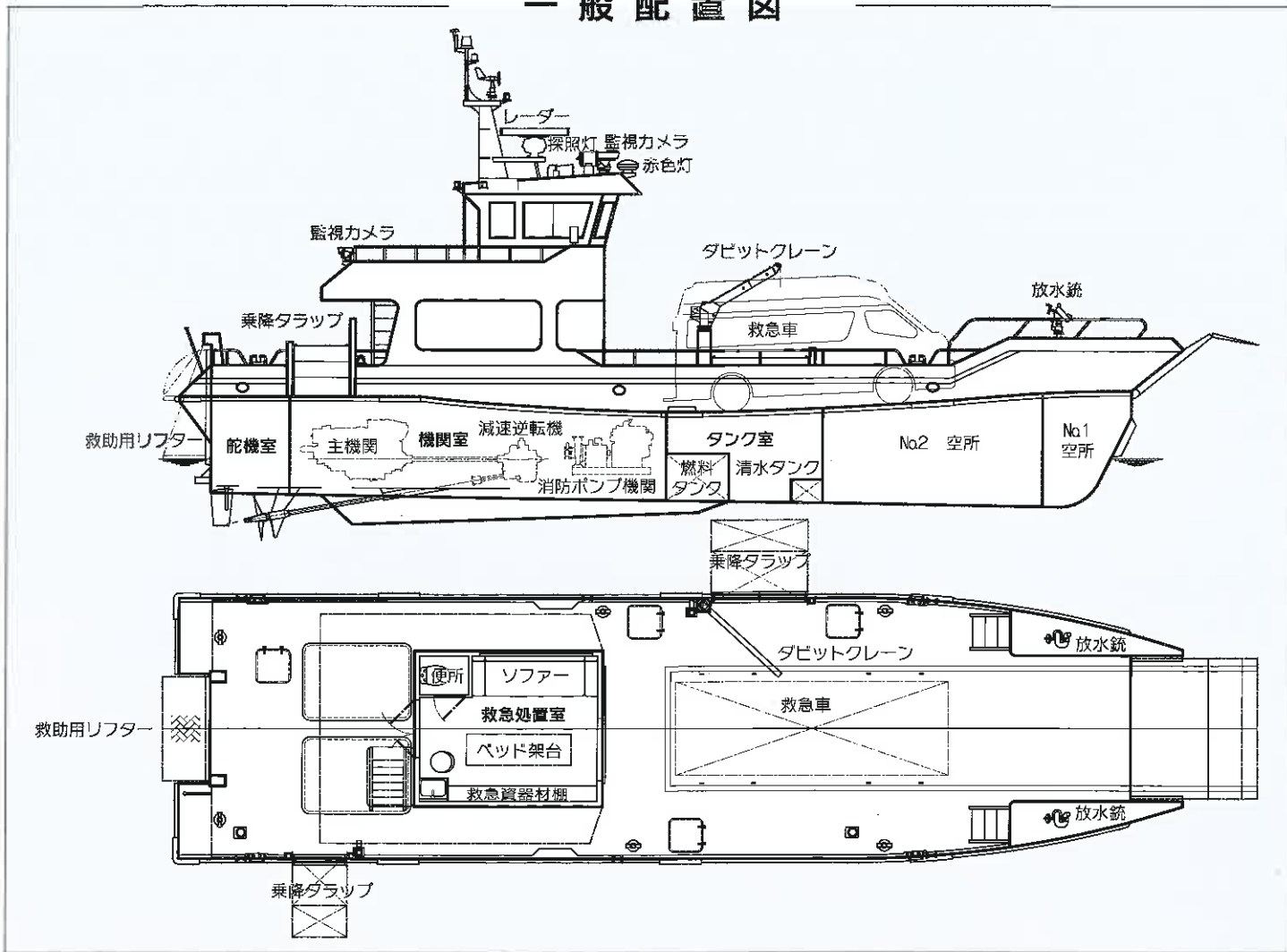


一般配置図



主要諸元

主要構造 耐食アルミニウム合金
 全長 20.86m
 全幅 5.00m
 総トン数 19トン
 最大定員 16名
 主機関 669kW×2基
 補機関 39.4kW×1基
 消防ポンプ 3,000ℓ/min×1基
 航行区域 平水区域・限定沿海区域

建造過程

平成20年 7月18日 起工
 平成21年 2月12日 進水
 平成21年 2月20日 竣工

設計・監理 財団法人 日本造船技術センター

造船請負 瀬戸内クラフト株式会社

建造費助成 財団法人 空港環境整備協会



松山市消防局
 〒790-0811 松山市本町6丁目6番地1
 TEL:089-926-9213 FAX:089-926-9144
 E-Mail:sbsoumu@city.matsuyama.ehime.jp

MATSUYAMA F.D.

消防救急艇 はやぶさ



松山市消防局

夢の架け橋 安心のせて いざ出航!!



松山市長 中村 時広

ごあいさつ

このたび、本市の島嶼部や沿岸部での消防力の強化を図るため建造を進めてまいりました消防救急艇『はやぶさ』が竣工し、今後、半年間の習熟訓練を経て、いよいよ平成21年10月から運用を開始することとなりました。このことは、島嶼部の方々をはじめ市民の皆様、関係者とともに喜びに堪えないところでございます。

この『はやぶさ』は、国内でも数少ない救急車を搭載することができるフェリー型消防救急艇で、軽量のアルミ合金の船体に、高性能エンジンを搭載することにより消防の保有する船舶ではトップクラスの

機動力を誇ります。また、最新鋭の航海機器をはじめ大容量の放水性能を有する消火設備や救助用リフター、小型救助艇を装備するなどあらゆる消防業務に対応できるものとしております。

これにより、島嶼部の傷病者に対し、救急救命士が迅速に駆け付け、適切な応急処置が可能となるほか、交通の要衝であります松山空港、重要港湾松山港といった沿岸域での消防力の向上にも大きな効果を発揮するなど、本市が目指す安心して暮らせる安全な街の実現に大いに近づくものと期待しております。

おわりになりましたが、消防救急艇『はやぶさ』の建造に際し、多大なる御支援と御指導を賜りました関係各位に心から感謝いたしますとともに、皆様方のますますの御多幸と御活躍を祈念してあいさついたします。

平成21年3月



■主機関

4サイクル船用高速ディーゼルエンジン 最大出力669kW (910馬力) を2基搭載し、巡航速度27ノットで航行可能。
※最高速度32.2ノットを記録

■救急処置室

救急車を搭載しない場合を想定し、船内に救急資器材を完備する救急処置室を配置。
ストレッチャー架台には除振性能に優れた磁気浮上式架台を採用しています。



■消火設備

放水量毎分3,000リットルの消防ポンプと、放水銃2基を装備。放水ノズルは脱着式を採用し、泡消火放水にも対応しています。

■救助用リフター

海上からの救出・救助活動を円滑に行うため、船尾に上下スライド式の救助用リフターを設置



■電動アシスト付搬送車

救急車での上陸が困難な場合に備え、傷病者を安全に搬送するための電動補助動力付き搬送車を新たに開発。
消火活動時には消防ホース搬送用のホースカーとして活用します。

■小型救助艇

搭載船である小型救助艇「こはや」は、軽快な操作性を活かし、浅瀬や河口付近での水難救助活動に活躍します。

